



氷川町議会だより

清流 ひかわ

No.33

令和元年
9月定例会



P2

米村洋新議長あいさつ

P3

9月定例会

P4

30年度決算認定

P5

そこが聞きたい 一般質問

P10

義務教育費国庫負担制度拡充 意見書採択

御挨拶

氷川町議会議長

米村 洋



令和元年九月町議会定例会におきまして、議員の皆様のご推挙により議長に就任いたしました。浅学非才を顧みまして、責任の重大さを一層痛感いたしておりますが、今後とも、議員それぞれが町民のみなさんの負託に応えられるよう連携を深め、一致協力の下、諸問題の解決を図りながら信頼される議会の構築にまい進していく所存であります。私が目指す議会運営の目標として「町民の声の反映」「二元代表制の尊重」「議会の調和」を掲げることとしました。

申すまでもなく、町政は民意に即したものでなければなりませんし、町長と議会はそれぞれ異なる特性を生かしつつ、二元代表制の理念のもと互いに緊張関係を保持しながら、町民の信託にこたえる良好な関係性を築き、町長と議会、また議員間の連携を図るため正副議長が調整能力を発揮し、適正な議会運営を目指して参ります。

町民に開かれた議会を目指して、自ら定めた氷川町議会基本条例の理念の下に、議会が町民の要請にこたえる仕組みを強化してまいる所存であります。

町議会へのより一層の叱咤激励をお願いするとともに、民主的な議会運営に力を尽くして参りたいと思っております。

議会の構成が変わりましたので、新しくなった議会構成を紹介します。氏名の上の◎は委員長、○は副委員長です。

議長

米村 洋

副議長

松田 達之

議会選出監査委員

長尾 憲一郎

総務文教常任委員会

◎ 片山 裕剛
○ 西尾 正治
○ 上田 俊孝
○ 三浦 賢治
○ 松田 達之
○ 米村 洋

産業建設厚生常任委員会

◎ 清田 一敏
○ 河田 涼一
○ 木下 厚
○ 長尾 憲二
○ 吉川 義雄
○ 上田 俊孝

議会運営委員会

◎ 三浦 賢治
○ 上田 俊孝
○ 西尾 正剛

議会広報調査特別委員会

◎ 吉川 義雄
○ 河田 涼一
○ 長尾 憲二
○ 片山 裕治

八代生活環境事務組合議会議員

◎ 河田 涼一
○ 片山 裕治
○ 米村 洋
○ 片山 裕治

八代広域行政事務組合議会議員

◎ 西尾 正剛
○ 上田 俊孝
○ 河田 涼一
○ 片山 裕治

氷川町及び八代市中学校組合議会議員

◎ 木下 厚
○ 清田 一敏
○ 長尾 憲二
○ 上田 俊孝

国民健康保険運営協議会委員

◎ 長尾 憲二
○ 上田 俊孝
○ 西尾 正剛

プレミアム付商品券事業など 令和元年度 一般会計補正予算 4億6201万円可決

9月定例会では、報告2件、条例制定1件、条例の一部改正2件、令和元年度一般会計補正予算、介護保険特別会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算の3補正予算、平成30年度一般会計決算をはじめ、特別会計の4会計決算、氷川町教育委員会委員の任命同意1件、陳情1件、意見書1件を審議し、全ての議案を可決、決算認定承認、人事案件に同意しました。一般質問は、3名の議員が行いました。議会最終日に正副議長辞職に伴い、正副議長選挙を行いました。

◆報告

○宮原まちづくり株式会社
の経営報告

※平成30年度の決算報告

○平成30年度氷川町財政健全化判断比率等の報告

※健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正であると認める

◆条例制定

○成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条項の整備に関する条例を制定

※関係する法の公布に伴い条例を整備

◆条例の一部改正

○氷川町印鑑の登録及び証

明に関する条例の一部を改正

※印鑑登録証明事務処理要綱（通知）の一部

改正に伴い氷川町でも旧氏での印鑑登録を可能にするため

◆補正予算

○令和元年度氷川町一般会計補正予算（第4号）

※4億6201万円を追加し、総額73億9390万円に

歳出予算の主なものは

※ふるさと納税事務事業支援業務委託料

1100万円

※財政調整基金積立金に

2億5000万円

※ふるさと氷川応援基金

積立金 2000万円

歳入予算の主なものは

※地方交付税

4927万円

※繰越金

3億1652万円

○令和元年度氷川町介護保険特別会計補正予算

（第2号）

※1億1524万円を追加し、総額18億2087万円に

○令和元年度氷川町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

※524万円を追加し、総額5億6750万円に

※指定ゴミ袋購入費

644万円

※プレミアム付商品券事業交付金

4800万円

※道路維持修繕費関係工事請負費（3本）

795万円

※道路新設改良費関係工事請負費（3本）

3465万円

※氷川町地域防災計画改定業務委託料

123万円

◆決算認定

○平成30年度氷川町一般会計歳入歳出決算認定

○平成30年度氷川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

○平成30年度氷川町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

○平成30年度氷川町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

○平成30年度氷川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

◆同意

○氷川町教育委員の任命（再）

※氷川町教育委員会委員

に
村山賢一氏（氷川町
令）

◆陳情

○教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元を図るための、2020年度政府予算に係る意見書提出の要望

◆意見書

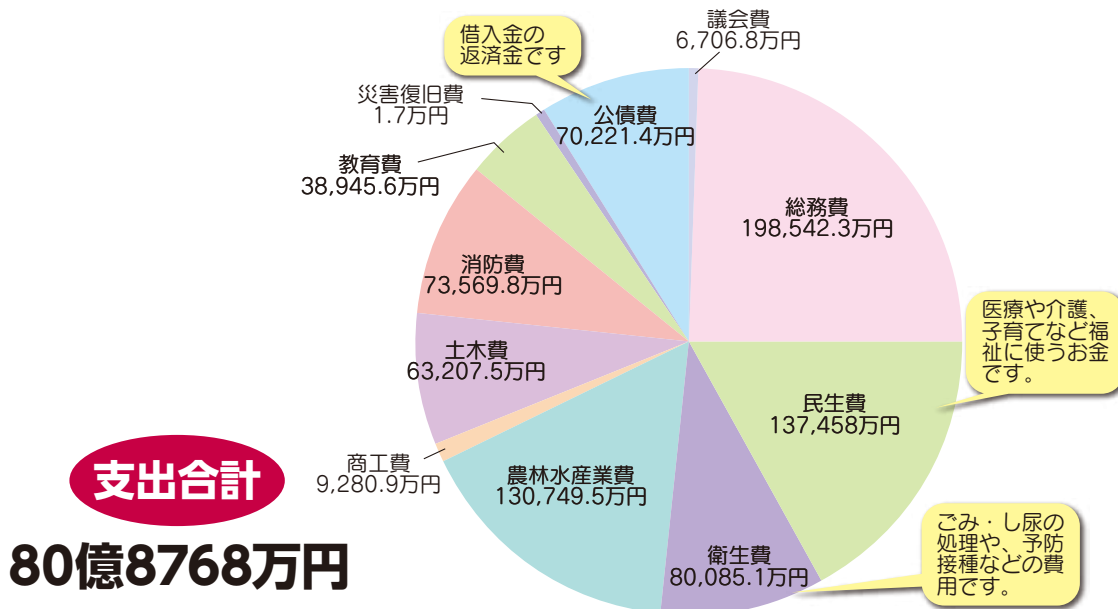
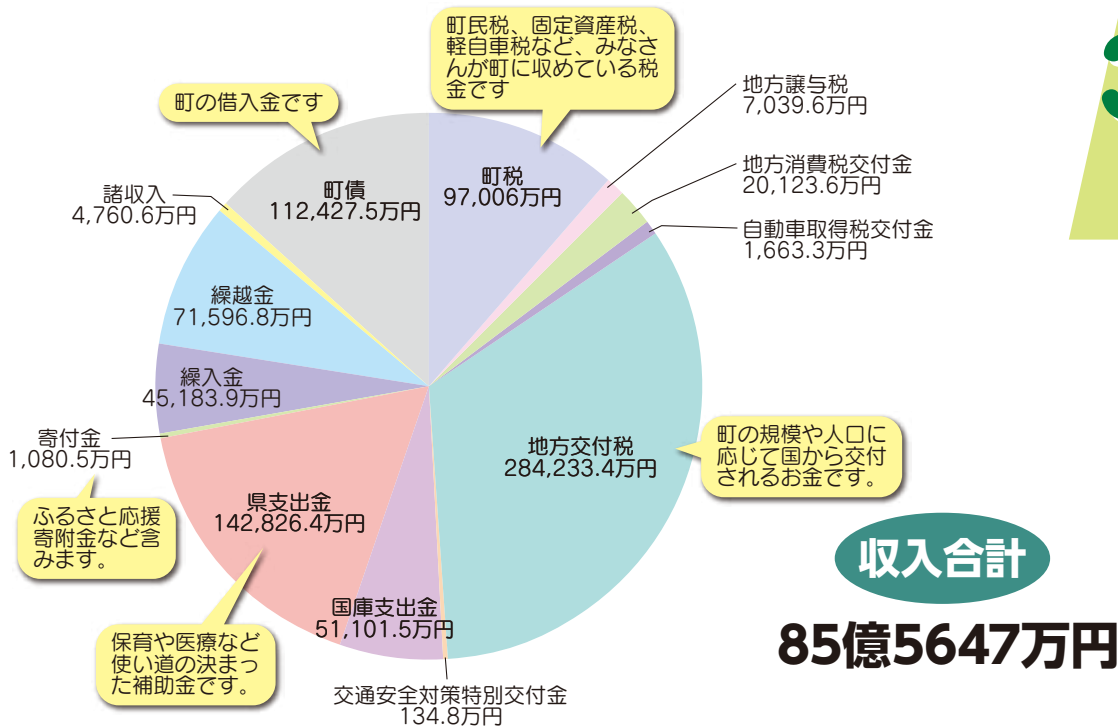
○教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

30年度 決算

生命・財産を守る施策に

80億円

を支出



9月議会は、9月9日～18日までの10日間の会期で開催しました。平成30年度の決算審査では、4つの特別会計を含む約120億円の支出を認定しました。そのうち、一般会計の支出は80億8768万円で前年度より1661万円の増となりました。

収入合計は85億5647万円、前年度より2億3056万円の減でした。自主財源が23億5009万円で前年度より0.2%の減となりました。一方、依存財源は62億637万円、前年度より3.5%の減でした。歳入決算の総額の33.2%を占める地方交付税は28億4233万円でした。

収入から支出を差し引いた残額は、4億6878万円となっています。

会 計	歳入金額	歳出金額	差引残額
一般会計	8,556,474,472	8,087,686,903	468,787,569
国民健康保険特別会計	2,169,271,036	1,900,933,996	268,337,040
後期高齢者医療特別会計	158,936,340	156,936,521	1,999,819
介護保険特別会計	1,727,119,722	1,573,032,233	154,087,489
下水道事業特別会計	473,215,107	462,104,555	11,110,552
合 計	13,085,016,677	12,180,694,208	904,322,469

(単位:円)



Q:もち米生産地としての今後について
A:作業効率化、コスト軽減を図る

木下 厚 議員

年度	作付面積 (ha)		
	ヒヨクモチ	その他	合計
平成 20	6 4 7 . 4	2 2 . 9	6 7 0 . 2
平成 22	6 1 6 . 6	7 . 0	6 2 3 . 6
平成 24	5 7 3 . 9	5 . 4	5 7 9 . 3
平成 26	4 7 9 . 8	6 . 9	4 8 6 . 7
平成 28	4 4 5 . 2	3 . 8	4 4 9 . 0
平成 30	3 8 2 . 7	3 . 5	3 8 6 . 2

農業振興課長 もち米の作付面積は、町内の農家から提出された経営所得安定対策等交付金に係わる営農計画書の集計数値で答えます。尚数値は四捨五入の数値です。

議員 本町の特産品の一つである「もち米」の生産が減少しているが、作付面積はどうなっているか行政として対策は考えていますか。

議員 東部カントリーエレベーターの利用者の作付面積と受け入れた生籾重量はどうなっていますか。

農業振興課長 平成二十六年
度から平成三十年度までの作付面積と生籾重量で答えま
す。

区分	作付面積 (ha)	生籾重量 (t)
平成 26 年度	3 9 2 . 4	3 5 0 2
平成 27 年度	3 8 3 . 0	3 2 3 8
平成 28 年度	3 6 2 . 4	3 2 1 0
平成 29 年度	3 5 1 . 7	3 2 0 5
平成 30 年度	3 1 2 . 4	2 8 6 3

議員 東部カントリーエレベーターの荷受生籾重量は4500tである。今対策を取らないと施設運営上の収益の悪化等、存続の危機に直面する。

カントリーエレベーターが完成して、個々の農家には多

大なメリットがあった。また、農業機械の共同利用、コンバイン・田植え機などへの国の補助金もあった。労働力の分散で配偶者への負担が減り、農家が活気に満ち、生産増に貢献した。

このままでは、氷川町のもち米生産は崩壊してしまう。行政とJAとで真摯に取り組んでもらいたい。行政の考えをききたい。

農業振興課長 東部地区カントリーエレベーターは、JAやつしろ東部地区カントリーエレベーター利用組合が運営しています。良好な運営ができるためには、利用が増えることがいちばんだと考えます。農業者の高齢化に伴い、作業がしやすいWCSの作付が増えたのも一因と考えます。作付けが増え、利用を高めるには、集落営農組織等の組織化で農地の集積・集約化、資材の一括購入等により、作業効率化、コスト軽減を図るなどこめ作りが持続できる方策をJAと共に考えていく必要があると考えています。

議員 農業で元気になるような政策を町長にお伺いしたい。

町長 氷川町の基幹産業は農業であります。食料がない国は滅びます。そのことを考えますと、大事にしていかなければならないと私も思っています。氷川町はこれまで、農業立町という立場で政策を行ってまいりました。これからはその立場を変える気持ちはありません。農業が永遠と継続し、農業で生活するためには、所得が大切です。生活できる所得をきちんと担保して、後継者が育つ政策を町とJA、経済連としっかり手を結んで進めていく必要があると考えています。



東部カントリーエレベーター



Q:昨年度のふるさと納税の寄附額が、ここ10年間の総額の43%を占めたがどういう取組みがおこなわれたのか？令和元年度の目標額は？

A:インターネットでの取組みを開始した。令和元年度目標額は3,000万円。

西尾 正剛 議員

議員 10年間のふるさと納税の寄附の累計額は2、230万円であるが、昨年度1年間で、598件の寄附件数、963万円の寄附があつてい

企画財政課長 昨年度から、インターネットでの受付けを開始しました。

ふるさとを限定するものではなく、ふるさと納税での財源確保やお礼に、地元の特産品を送り、特産品のPRをする動きが全国的に広がりました。インターネットでの受付けを行い、また寄附のお礼として農産物や加工品など魅力ある氷川町の特産品を送る取り組みを始めました。

返礼品は、19品目から、80品目と掘り起こし登録した。梨や晩白柚、柑橘類の詰め合わせなど農産物が多かった。

議員 サイトの運営会社、委託業者への内訳はどのようになっているのか。実績に応じた支払いになっているのか。

企画財政課長 寄附額、約1、000万円に対しての業者への約500万円は、返礼品及び送料を含んだ金額。その返礼品の約3割分の費用は、町内事業者の収入となりました。返礼品は、地場産品で寄附

額の3割以下という基準があつたが、新規定で経費の総額は寄附額5割以下という項目が追加されました。

令和元年度の目標額と対策は。

議員 ふるさと納税事業支援業務委託料としての、1、100万円補正予算だが、取組み内容と目標額は？

企画財政課長 インターネットでの取組み開始時点で、目標額1、000万円を掲げていた。初年度の昨年度は、963万円で、目標には達していないが、受付件数は598件で、前年度36件の16倍以上であつた。今年度からはさらにインターネット受付窓口を2カ所増やし、目標額を3、000万円としました。

議員 今年度から返礼品は地場産品と限定されたが、どういった掘り起こしを考えているのか。また返礼品は特産品だけではなく、農業体験型など幅広く考えたらどうか。

企画財政課長 地場産品が基準である。ただし、熊本県の地域資源として、馬刺しやあか牛が認められているので、新たに返礼品として登録した。特産品以外では、立神峡

ログハウス宿泊券及び梨マラソンの出走権などを登録している。さらに魅力ある返礼品を開拓していきたい。

企業版ふるさと納税の取組は可能なのか。

議員 企業版ふるさと納税は、会社等が氷川町に寄附すると、税負担が軽減される制度だが、取組みは考えているか。

企画財政課長 地方創生推進事業に対し、企業が寄附を行うものだが、ハードルが高いく取組みが進まない。寄附の働きかけは、さまざまな機会を通じて関わりのある経営者にPRするのが効果的と考えている。ホームページやパンフレット等で周知を図っていきたい。

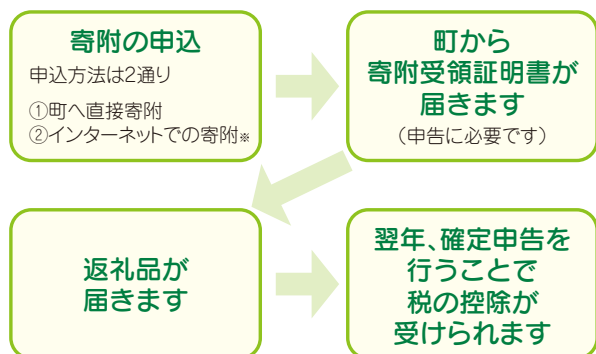
町長 ふるさと納税の本来の趣旨は、氷川町にお世話になった人や思いのある人が納税をされるのが一番いい形だと思つている。その上で、氷川町の魅力あるものに賛同を得て納税をいただくのも一つの方法だろうと思つているので、企業版も、あらゆる機会を使って、お願いをしていきたい。

事業区分ごとの寄附は、どう使うのか

議員 寄附の際は、事業区分ごとに受付けを行っているが、どのような使われ方がされているのか。

企画財政課長 寄附は、ふるさと氷川応援基金に積み立てており、3年に1度取り崩し、事業に充当している。平成28年度に、児童医療助成事業、小中学校ICT導入事業、ごみ減量化対策事業などに充当した。今年度は、すこやか赤ちゃん出産祝い金、子ども医療費助成事業に充当を予定しています。

ふるさと納税の流れ



※「さとふる」「楽天ふるさと納税」「ふるさとチョイス」で、寄附の受付を行っています。



**Q:公共工事で住宅等に被害発生
原因究明と被害者へ誠意ある補償を
A:被害者の意見を尊重し、十分な対応を県に要請する。**

吉川 義雄 議員

**被害発生の原因は何か
被害状況をつかんでいるか**

議員 県営湛水防除事業で住宅等への損傷被害が発生しました。私は、これは事故だと考えています。公共工事です。うした被害が出ることは絶対あってはならないことで、2度と起きないようにすることが大事です。そのためには原因をはっきりさせることが必要です。住宅の基礎や壁のひび割れなど多大な被害が発生していますが、町は被害状況をつかんでいますか。被害の状況をどう考えていますか。

**住宅6棟・倉庫13棟
道路などに被害が発生**

農地課長 今回の件で、被害を受けられた方には大変ご迷惑をおかけしたと考えており、復旧に向けた一刻も早い対応を県にお願いしていただこうです。



工事着手に際し、町から県に注意を払うようお願いをしていました。工事車両や重機による影響を想定していましたが、既設擁壁の傾き等による被害は想定していませんでした。

被害の要因は、既設水路の改修です。水抜きして擁壁を改修する施工方法で、既設水路の矢板護岸は自立する工法でした。しかし、水を抜いた段階で既設擁壁が傾いたため、地盤沈下が発生しました。これは、熊本地震の影響により地盤が多少脆弱になったこと、矢板の経年劣化が要因と考えられます。被害状況は、住宅6棟、倉庫13棟、道路延長532m、圃場内道路交差点8カ所に被害が出ています。

**工程表どおりに
工事は行われたのか**

議員 課長は、十分注意を払っていたけど被害が発生した。想定しないことが起きたと言われたが、工程表に基づいて作業は進められていくわけですが、工程表通り工事は行われましたか。

農地課長 工程表どおりに工事は進んだと認識しています。

被害補償は誠意をもって

議員 議会に被害発生 の報告があつたのは先の議会終了後でした。県が被害状況を調査中であるとの事でした。被害者への補償は県が行う事になると思いますが、町はどう考えていますか。被害を受けられた方の意見を尊重して誠意をもって対応してほしいと思います。

**被害者の意見を尊重し、
県に十分な対応を要請**

農地課長 被害を受けられた方の意見は十分尊重し、県にも十分な対応を要請しているところです。補償の個別交渉においても、被害を受けられた方が納得してから契約を行うと県から回答を得ています。

町長 公共工事で事故が起きると言うことは決してあってはならないことです。今回の事は、県の方もしっかりと反省をされていると思ってます。この事業は農業だけではなく、私たちの生活を守るための大切な湛水防除事業であります。今後の事業に影響を及ぼすことがないよう、県と向き合っていきたいと思っています。

**高齢者等福祉タクシー利用料金
支援実証事業の取り組み**

議員 高齢者等福祉タクシー利用料金実証事業は始まったばかりですが、この事業の対象となる人への周知はどうされましたか。対象となる人で申請をされていない人への今後の対策はありますか。また、対象者を拡大する考えはありますか。

**対象の約2割が申請
事業の周知に取り組む**

福祉課長 まだ申請をされていない人への対策ですが、これまで同様、包括支援センターや民生委員さんに周知依頼をはじめ、町の広報紙、ホームページ、防災無線での案内を考えています。

申請状況は、8月末時点で137名の方に利用者証を発行しています。対象者の約2割となっています。この事業の対象を拡大する考えはないかと言うことですが、まずはこの事業を多くの方に知っていただくために周知を優先して取り組みたいと思います。今後、関係者と意見交換会を開催し、課題や要望を整理しながら前向きな検討ができればと思っています。

委員会レポート

総務文教常任委員会審査報告

清田一敏 委員長

当委員会への付託案件は、条例1件、予算1件。

当委員会は、9月11日、役場2階大会議室で関係課長より説明を求めながら審査を行った。

付託案件は採決の結果全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決した。

主な質疑については次のとおりである。

議案第40号「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等をはかるための関係条例の整備に関する条例の制定について」

質疑及び意見はなく、採決の結果全員賛成で、原案のとおり可決するべきものと決しました。

議案43号「令和元年度氷川町一般会計補正予算（第4号）について」

歳入

長尾議員 町債、総務費、臨時財政対策債の内容は何か

企画財政課長 地方交付税として交付すべき国の財源が不足した場合、不足分を地方自治体に起債させるも

歳出

清田議員 ふるさと納税事業支援業務委託料で、受付窓口を2つ追加し、

プロポーザル方式で業者選定を行ったと説明があったが公募型か指名型かどちらで行ったのか、また公告の方法、何社の応募があったのか。

企画財政課長 公募型で行いました。公募の方法は町のホームページで行い、1社の応募でした。

清田議員 競争の原理が働くために、も公告の方法をホームページ以外で

も考えたらどうか。

吉川議員 消防費、災害対策費、氷川町地域防災計画改定業務委託を改訂する内容は何か。

総務課長 前回、平成28年度に改訂を行った。毎年、県防災計画を踏まえて町も防災計画を見直します。又昨年度、機構改革があり課名の変更、防災公園の整備も盛り込むため3年ぶりの改訂となります。

長尾議員 防災無線のデジタル化を進めているが、各世帯の個別受信機の交換はいつか。

総務課長 9月9日から11月15日まで、地区ごとに分けて委託業者N E C が交換を行う。広報ひかわ9月号の折り込みチラシや防災行政無線で周知を行った。不在の場合は不在票をポストにいれて対応します。

吉川議員 教育費、学校管理費の体育館天井改修工事実施設計業務委託料の内容は。

学校教育課長 竜北東小学校の体育館で、2階部分の天井が今年の5月の地震でひどく揺れ、天井ボードが欠けたため修理をする。既存天井を残したままカバーを取付ける工事の設計業務です。

陳情

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書提出の要請について

審査の結果、陳情趣旨、理由はそのとおりであり、採択すべきではないかという意見が多く、総務文教常任委員会では、全員賛成で本陳情を採択すべきものと決しました。

当委員会に付託された案件についての審査報告は以上です。



整備が進む野津防災公園（仮称）

委員会レポート

産業建設厚生常任委員会審査報告 片山裕治 委員長

当委員会に付託されました案件につきまして、委員会における審査の経過並びに結果について、ご報告申し上げます。

当委員会に付託されました案件は、条例2件、予算3件であります。

当委員会は、9月11日、役場2階大会議室で、関係課長より説明を求めながら審査を行いました。

議案第41号「氷川町印鑑の登録及び

証明に関する条例の一部を改正する条例について」

西尾議員 施行する期日、なぜこの日にスタートするのか。

町民課長 国の住民基本台帳施行令の改正に合わせ、また、メリットは様々な活動の場面で旧姓をそのまま使用できる。申し出により住民票に旧氏がカッコ書きで併記され、印鑑証明にも旧氏が表示できるようになります。この条例は、令和元年11月5日から施行する。

議案第42号「氷川町手数料条例の一部を改正する条例について」

西尾議員 今回、価格を上げる理由と町民に理解してもらう周知の内容は。

町民課長 近隣自治体の八代市、宇城市、宇土市を参考にしました。周知の方法は、チラシ等を考えていま

す。内容は4点です。

1点目は、ごみに対する意識の向上、また応分の負担を求めるということ。

2点目は、町の財政の構築、町の歳出を抑えるため。

3点目は原材料価格の高騰が挙げられるため。

4点目は、将来的に八代市との広域処理を念頭に置いているため。

議案第43号「令和元年度氷川町一般会計補正予算（第4号）について

片山議員 衛生費、塵芥処理費、指定ごみ袋購入費では、購入費の枚数と何ヶ月分の需要を見込んでいるのか。

町民課長 大30万枚と小10万枚分で、半年分位を見込んでいます。

西尾議員 農林水産業費、農業振興費、くまもと土地利用型農業競争力強化支援事業補助金の内容は。

農業振興課長 地域営農組織の育成

支援で、アグリ鹿島が6条植えの田植え機284万円の2分の1補助で142万円を予定しています。

米村議員 林業振興費、有害獣防除柵等補助金の内容は。

農業振興課長 今回、今後見込まれる電気柵とワイヤーメッシュ柵等を予定しており、補助率は3分の1以内です。

西尾議員 団体営農業農村整備事業の内容は。

農地課長 野津地区の排水路改修分の区間延長と新田、鹿島地区の排水路改修分の追加です。

西尾議員 全体的な土木費、工事請負費において、全体で17本の工事が挙げられているが、竜北地区13本、宮原地区4本である。平準化してほしい。

建設下水道課長 バランスも鑑み、緊急性、必要性を優先的に実施します。

上田俊孝議員 道路新設改良費、電柱移設補償金の内容は。

建設下水道課長 町道今桜ヶ丘線で宮原小学校から桜ヶ丘団地までの通り4本と役場前の町道北川反南鹿

野線8本分合計12本分で、相手はNTTと九州電力です。

議案第44号「令和元年度氷川町介護保険特別会計補正予算（第2号）について」及び、議案第45号「令和元年度氷川町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について」は、質疑及び意見はありませんでした。

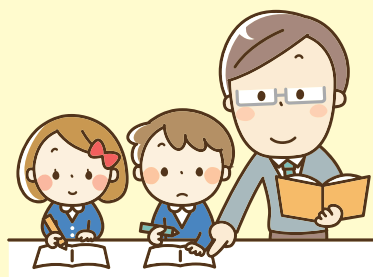
当委員会に付託されました案件は、採決の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しました。以上が、産業建設厚生常任委員会の審査報告です。



町道今・桜ヶ丘線道路改良工事（予定地）

意見書

古閑幸喜氏（氷川町新田）
の、教職員定数改善と義務
教育費国庫負担2分の1復元
を図るための、2020年度
政府予算に係る意見書提出の
陳情を採択し、氷川町議会
として、教職員定数の改善
及び義務教育費国庫負担制
度拡充を求める意見書を採
択し、衆参議長・内閣総理
大臣他関係大臣あてに送付
しました。



教職員定数の改善及び

義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

学校現場では、解決すべ
き課題が山積みしており、
子どもたちのゆたかな学び
を実現するための教材研究
や授業準備の時間を十分に
確保することが困難な状況
となっています。特に小学
校においては、新学習指導
要綱の移行期間中であり、
外国語教育実施のため授業
時数の調整など対応に苦慮
しています。ゆたかな学び
の実現のためには教職員定
数改善などの施策が最重要
課題です。また、学校現場
においては、長時間労働是
正にむけて教職員の働き方
改革が進められようとして
いますが、中でも教職員定
数改善は欠かせません。

義務教育費国庫負担制度

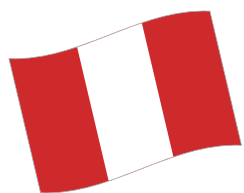
については、「三位一体改
革」の中で国庫負担率が2
分の1から3分の1に引き
下げられました。厳しい財
政状況の中、独自財源によ
り人的措置等を行っている
自治体もありますが、自治
体間の教育格差が生じるこ
とは大きな問題です。国の
施策として定数改善にむけ
た財政保障をし、ゆたかな
子どもの学びを保障するた
めの条件整備は不可欠です。
よって、国会及び政府に
おかれましては、地方教育
行政の実情を十分に認識さ
れ、地方自治体が計画的に
教育行政を進めることがで
きるように、下記の措置を
講じられるよう強く要請し
ます。

記

1. 計画的な教職員定数改
善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準
の維持向上をはかるため、
義務教育費国庫負担制度
の負担割合を2分の1に
復元すること。

以上、地方自治法第99条
の規定により意見書を提出
いたします。





ペルー 熊本県人会 創立100周年 記念式典に出席

報告者 上田 健一

ペルー共和国リマ市で開催された「ペルー熊本県人会創立100周年記念式典」に、公式招待を受けて藤本町長と出席しました。熊本県からも小野副知事らの出席があり、総勢9名の訪問団でありました。

昨年11月の熊本県人ペルー移住115周年記念式典に続いて2回目の訪問となった今回は、ペルー熊本県人会名誉会長である平岡ルイス様（南鹿野出身・故平岡千代照様のご子息）のご厚意により旅費などの経費をご負担いただいた際の訪問となり、心より感謝申し上げます。

8月7日、成田空港を出発しました。乗り換え時間を含め30時間以上の長い旅を経て、現地時間8月8日午前6時に到着しました。早朝にも関わらず県人会の方々に迎ええいただき、温かい歓迎を受けました。

訪問3日目の8月10日、リマ市のゴルフ場の特設テントにて開催された「ペルー熊本県人会創立100周年記念式典」は、ペルー国外務大臣をはじめ約400名の出席があり盛大に開催されました。式典は、厳粛に執り行われ、両国の国歌斉唱に始まり主催者及び来賓挨拶、記念品交換などがありました。懇談会の乾杯は、日本伝統の樽酒による鏡開きで威勢よく行われました。その後の芸能披露では、現地の若者が日本の歌や陽気なリズムのダンスを披露、後半は出席者もダンスパーティの中に入り賑やかなものとなりました。



ペルー熊本県人会
創立100周年記念式典での鏡開き

この度の訪問では、式典出席のほか

県人会の皆様との交流会や、日秘協会長及び外務大臣、リマ市長の表敬訪問、国会議事堂視察及び日系国会議員との面会、在ペルー日本大使との面会、ペルー海軍練習艦視察などを行いました。

ペルー滞在中は、平岡様のご配慮によりSPの配備や警察車両による移動時の先導等を行っていただきました。また、県人会の皆様にも私たち訪問団を温かく歓迎していただきました。心より感謝申し上げます。県人会の皆様が日本の伝統や文化を大切にされ、「皆が熊本県人です」と話される姿に、故郷熊本への強い想いをさらに感じ、私自身も熱い想いが込み上げました。

滞在中に平岡様から、ペルー国の難民支援についての話がありました。街を少し外れるとスラム街ともいえる地

域があり、貧富の差を感じました。古着や靴など何でもいので送っていたのだいたら有り難いとの申し出がありました。藤本町長から町でもできる限りの支援を行いたいとの話があり、議会としても応援していきたいと思ったところでございます。私がこの度の渡航に対して町議会議員有志からいただいた賡別を難民支援金として平岡様に贈呈させていただきました。

8月12日早朝より帰路に着き、メキシコシティでの乗り継ぎの時間を利用して、メキシコ熊本県人会との交流を行いました。熊本からの訪問を大変歓迎していただきました。

2年続けてのペルー訪問の機会をいただいたことに感謝し、県人会の皆様と交流がさらに深まったことを嬉しく思います。今後もペルー熊本県人会と氷川町の交流が続きますことを心より願い、訪問の報告いたします。



ペルー海軍練習艦の艦内視察

「これからの議会のありかた」 熊本県町村議員研修



熊本町村議会議長会主催の令和元年度熊本県町村議会議員研修会が10月1日、下益城郡嘉島町の町民会館で開催されました。

今年度の研修会は、現在早稲田大学大学院教授で元総務大臣・鳥取県知事を務められた片山善博氏を講師に招き、「これからの議会の在り方・議員への期待」と題して講演がありました。

片山氏は、統一選挙から見えてくる地方議会の現状は、無投票と「なり手不足」や低い投票率は民主主義の危機である。議員定数を減らして

いくと議会が議会でなくなり、ますます先が見えなくなる。議会は民主主義政治の必須条件と強調されました。また、議会は最高決定機関と云うことを自覚する必要がある。物事を決定する事が議

会の仕事、決定するには町民の声を聴くことが大事で、資料を取り調査することが必要と言われました。議会と長の関係について「車の両輪」とは距離を取ること、寄り添うことではない。一輪車や自転車ではダメ、常に客観的に見ることを笑いも交えながら話されました。

これからの議会の在り方について、真に「開かれた議会」について、アメリカの事例が紹介されました。アメリカの議会には住民が参加する。日本は傍聴する事だけ、これからの議会は住民の声を聴く機会を設けることの必要性が述べられました。

議会とは何か、議会の役割、特に議会の承認権（地方自治法96条の2項）の行使など、大変勉強になりました。

新しい議会体制になった今、あらためて「議員とは」、「議会の役割」を学び、これからの議会活動に生かしていかなければと思います。大変有意義な研修会でした。

表紙のひょうしつ

● 竜中マルシェ

竜北中学校で、3年生が地元企業から仕入れた商品や手作り商品、実演販売する「竜中マルシェ」が開かれました。

マルシェに訪れた人と笑顔で接客、商品販売を呼びかける元気な声が会場いっぱい響いていました。

（ピンの中に乾燥させた花と特殊なオイル入れて作る「ハーバリウム」の作成を指導する生徒）



編集後記

新しく広報委員会のメンバーが変わりました。新しい委員で議会だより33号の編集にあたり、題字「清流ひかわ」が話題になり、氷川町議会だより「創刊号」を見てみました。「氷川の水のように澄みきって、住民から良く見える議会でありたい」と、創刊号を発行するにあたっての決意が語っ

てありました。この初心に

帰り、議会での審議経過や議会活動を知ってもらえるように、編集に取り組みたいと思います。表紙も一新しました。新しくなった議会広報誌「清流ひかわ」をお届けします。

